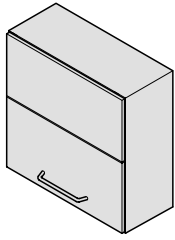


フリーストップ機構付ステー センソ 3674型 取付説明書 PAT



このたびはセンソをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は【機能】のために設計された物です。このほかの目的には使わないようにしてください。取り付けの際は、この取付説明書をよくお読みになってから、作業をお始めください。本説明書をお読みになって作業した後は、本書をユーザー様にお渡しください。ユーザー様はいつでも取り出せる場所に保管するようお願いしてください。

I この製品について

注意 以下の注意事項をお守りいただかない場合、思わぬけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする恐れがあります。

取り付け上の注意

- 本品は、必ず左右セットでご使用ください。
- 本品は上開き扉専用金具です。これ以外の使用方法や、分解、改造および、「機種を選定方法」に示す仕様範囲外の扉に使用したこと等が原因による故障、けが等の事故につきましてはその責任を一切負い兼ねますのであらかじめご了承ください。
- 本品のキャビネットへの取り付けは、本書に従い正しく施工してください。指定寸法以外の寸法で取り付けした場合、本品の性能が発揮できないばかりでなく、破損等による思わぬけがをする恐れがあります。
- 本品の取り付けには、付属のねじおよび本書に記載のねじを使用してください。それ以外のねじを使用すると本品がはずれたり、けがをする恐れがあります。
- 改良等により予告なく寸法、仕様が変わることがあります。詳細は現品にてご確認ください。
- 扉は反り、ねじれが発生しにくい構造にしてください。

使用上の注意

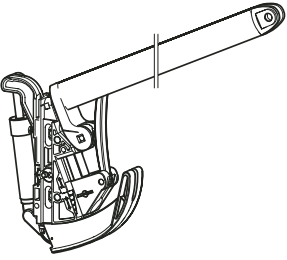
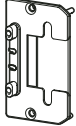

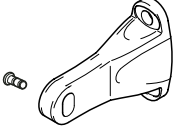

- 扉が開ききった状態からさらに開こうとしたり、必要以上の力で扉を閉める等、無理な扉の開閉は絶対におやめください。故障の原因となります。
- ご使用になる際は、アームに指をはさまないようにご注意ください。思わぬけがをする恐れがあります。
- 取付ねじにゆるみがないことを定期的に確認してください。ゆるみがあった場合は、十字ねじ回して増し締めを行ってください。

■1 製品

センソは、フラップドアを開けるときの操作を補助するためのものです。ドアパネルが開いたときには、ドアパネルはキャビネットの上方に跳ね上がります。

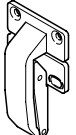
■2 内容物

(1) センソに含まれているもの

				
①本体 2個	②マウンティングプレート 2個	③カバー 2個	④サポート 2個	⑤取付ねじ (十字穴付バインド小ねじ M5 x 16) 4本

(2) 上のセットに含まれない必要な部品

- ⑥ランプ印スライド丁番230-26/19T+230-P4W-30T 2個 (枠が900mmを超える場合には3個必要です)
- ⑥ランプ印スライド丁番230-26/9T+230-P4W-30T 2個 (枠が900mmを超える場合には3個必要です)

⑦センターヒンジ 2個 ※枠が900mmを超える場合には3個必要です。	
--	---

(3) 作業に必要な部品と工具(ご用意ください。)

- ・皿頭タッピンねじ 呼び5 4本
- ・なべ皿頭タッピンねじ 呼び5 4本
- ・六角棒スパナ 呼び4
- ・六角棒スパナ 呼び8
- ・十字ねじ回し

注文コード	品番
180-100-422	3495-011-001

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせいたします。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03(3864)1122**
受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03(3863)6875
E-mail : support@sugatsune.co.jp
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

建築金物・家具金物・機構部品
スガツネ工業株式会社

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 国内各拠点 ※ISO14001: 千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター
ホームページ <http://www.sugatsune.co.jp/>
新製品の情報、会社情報など最新情報を提供しております。

2010.03 0388-2

II キャビネットの設計と加工

■1 機種の種類

1. 選択の基準

(1) センソは水平に二分割されたドアパネルを開閉できるようにさせる金物です。キャビネットの高さとドアパネルの質量に応じて各種サイズを取り揃えています。

キャビネット高さ (mm)	ドアパネル質量 (kg)	品番	注文コード
540 ~ 580	3.0 ~ 6.5	3674-003-011	180-100-401
	6.0 ~ 12.0	3674-003-012	180-100-402
	9.0 ~ 18.0	3674-003-013	180-100-403
	12.0 ~ 24.5	3674-003-014	180-100-404
580 ~ 640	3.0 ~ 6.0	3674-001-011	180-100-405
	6.0 ~ 11.0	3674-001-012	180-100-406
	9.0 ~ 17.0	3674-001-013	180-100-407
	12.0 ~ 23.0	3674-001-014	180-100-408
640 ~ 700	3.0 ~ 5.5	3674-005-011	180-100-409
	5.5 ~ 10.0	3674-005-012	180-100-410
	8.0 ~ 16.0	3674-005-013	180-100-411
	10.5 ~ 21.5	3674-005-014	180-100-412

キャビネット高さ (mm)	ドアパネル質量 (kg)	品番	注文コード
700 ~ 780	3.5 ~ 5.5	3674-002-011	180-100-413
	5.0 ~ 9.0	3674-002-012	180-100-414
	7.0 ~ 15.0	3674-002-013	180-100-415
	9.0 ~ 20.0	3674-002-014	180-100-416
780 ~ 840	5.0 ~ 9.0	3674-004-012	180-100-417
	7.0 ~ 13.0	3674-004-013	180-100-418
	9.0 ~ 17.0	3674-004-014	180-100-419
840 ~ 900	5.0 ~ 12.0	3674-006-013	180-100-420
	7.5 ~ 16.0	3674-006-014	180-100-421

■2 キャビネットの加工

ドアパネルとキャビネットの関係寸法を決めてください。

- (1) 上側のドアパネルと下側のドアパネルの間隔を決めてください。
2~4mmの間で決めることができますが、3mmで設計し、調整代として上下に1mmずつもたせることをお勧めします。
- (2) かぶせ代を決めてください。
① 左右および下部のかぶせ代は、全体のデザインから決めてください。

1. ドアパネルに開ける穴。

図中のA穴は、取付ねじの下穴です。木部の材料に応じた径としてください。

(1) 上側のドアパネル

- ① センターヒンジの取付穴
寸法の基準はドアパネルの縁です。キャビネットの幅によっては、中央にも開けてください。
- ② スライド丁番の取付穴
センターヒンジと図の縦方向の位置にあわせてください。取付穴は、スライド丁番の取付説明書によってください。

(2) 下側のドアパネル

- ① サポート④の取付穴
寸法の基準はキャビネットの側板の内側の縁です。

② センターヒンジの取付穴

上側のドアパネルに付くセンターヒンジと位置を揃えてください。

2. キャビネットに開ける位置。

(1) キャビネット天板

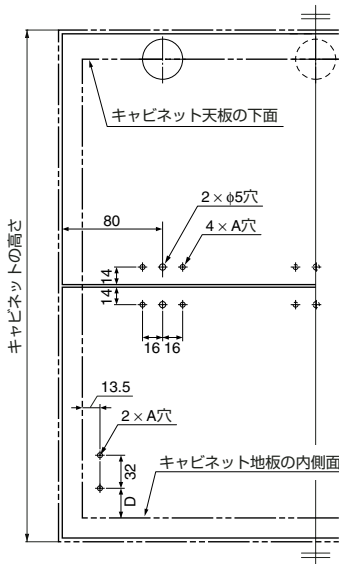
- ① スライド丁番のマウンティングプレート②の取付穴
スライド丁番の位置は、図II-2-1によってください。寸法の基準はドアパネルの縁です。キャビネットの幅によっては、中央にも開けてください。

(2) キャビネット側板

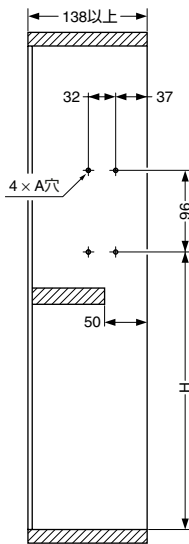
- ① 本体①の取付穴
本体①の位置は、図II-2-2によってください。寸法の基準は縦方向は、キャビネット地板の上面です。横方向はキャビネットの前面の縁です。

3. ドアパネルが完全に開いたときの寸法

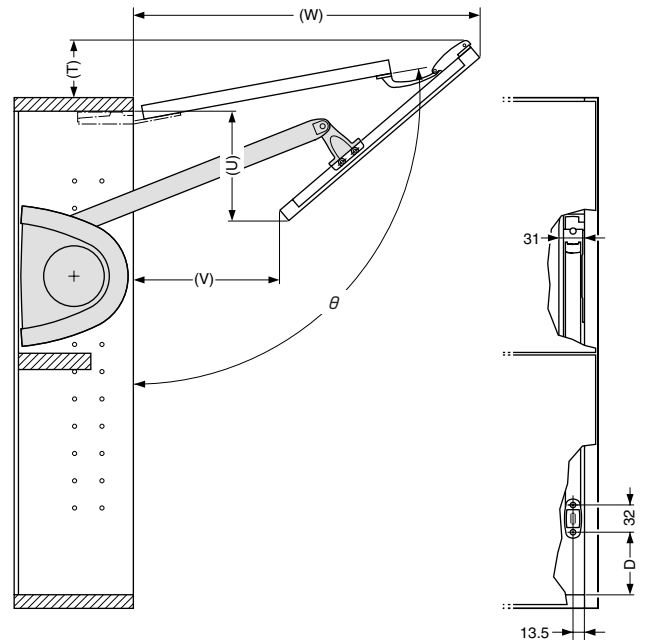
ドアパネルが完全に開いたときの寸法を図II-2-3に示します。図の寸法は、おおよそのものとご理解ください。



扉にあげる穴
図II-2-1



キャビネット側板にあげる穴
図II-2-2



図II-2-3

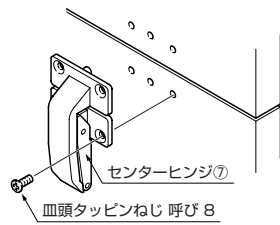
寸法の一例

キャビネット高さ (mm)	θ	D	H	R	T	U	V	W
520	100°	36	250	(42)	(50)	(120)	(165)	(370)
550	105°	57.5	290	(63.5)	(70)	(115)	(170)	(380)
600	100°	73.5	326	(79.5)	(70)	(130)	(170)	(405)
650	110°	67.5	340	(73.5)	(150)	(170)	(260)	(375)
720	105°	75.5	378	(81.5)	(125)	(160)	(225)	(455)
800	100°	71.5	392	(77.5)	(95)	(215)	(240)	(500)

Ⅲ 取付手順

■1 キャビネットを組み立ててください。

1. キャビネットに穴を開けてください。
2. ドアパネルに穴を開けてください。
3. ドアパネルに2ヶ所センターヒンジをねじ止めします(枠が900mmを超える場合には3ヶ所必要です)(図Ⅲ-1-1)。



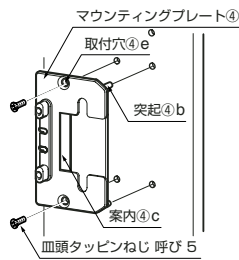
図Ⅲ-1-1

■2 部品を取り付けます。

1. マウンティングプレート②を取り付けてください。

マウンティングプレート②の各部の名称は、図Ⅲ-2-1によってください。

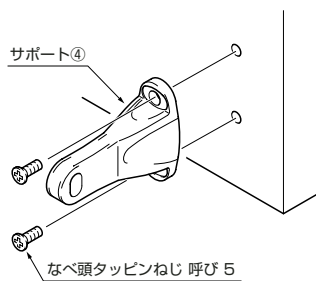
- (1) 突起④bをキャビネット側板に開いている径5mmの穴に合わせてください。
- (2) 取付穴④eに皿頭タッピンねじ呼び5を差し込み、キャビネット側板にねじ込んでください。



図Ⅲ-2-1

2. サポート④を取り付けてください。

- (1) サポート④を、図の向きで、ドアパネルになべ頭タッピンねじ呼び5で取り付けてください。



図Ⅲ-2-2

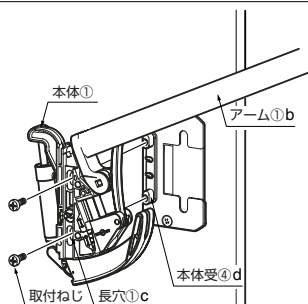
■3 本体①を固定してください。

本体①の各部の名称は、図Ⅲ-3-1によってください。

- (1) アーム①bが図の向きになるようにしてください。

出荷時は、本体①に赤色のプラスチックのブロックが組み込んであります。外さないで作業してください。これを外すと、アーム①bは図の下側にも動きます。作業中にアーム①bが跳ね上がり、思わぬけがをすることがあります。

- (2) 長穴①cを本体受④dに組み込み、取付ねじを本体受④dにねじ込んでください。



図Ⅲ-3-1

△注意

本体のアームは必ず上がった状態にしてください。

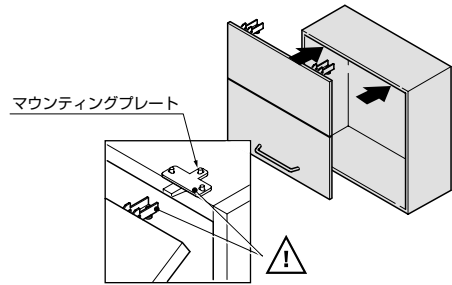
■4 ドアパネルをキャビネットに吊ります。

1. アーム①bを下げてください。

- (1) アーム①bをわずかに下げて、本体①に組み込んである赤色のプラスチックのブロックを外してください。
- (2) アーム①bを下まで下げてください。

2. スライド丁番をマウンティングプレート②に組み込んでください。

- (1) スライド丁番をドアパネルが開いた状態に開いてください。
- (2) 上側の扉をやや水平にし、組み込んでください。
- (3) スライド丁番取付ねじで固定してください。



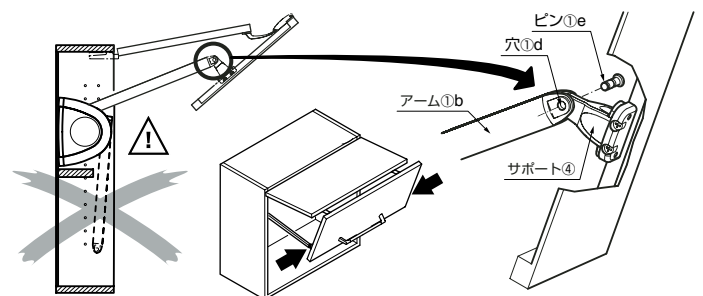
図Ⅲ-4-1

△注意

3つ穴が開いているマウンティングプレートのご使用を薦めます。

3. アーム①bとサポート④を連結してください。

- (1) ドアパネルを開けてください。
- (2) 上側のドアパネルが閉じないように、かいもので支えてください。
- (3) アーム①bを上を持ち上げてください。



図Ⅲ-4-2

△注意

下側のドアパネルに当たらないように上げてください。

- (4) 扉を持ち上げて、サポート④アーム先端の穴①dとを合わせ、ピン①eをその穴に差し込んでください。

■5 ドアパネルの調整をします。

1. ドアパネルが水平になるよう調節してください。

(1) ドアパネルのかぶせ代を左右同じになるよう調節してください。

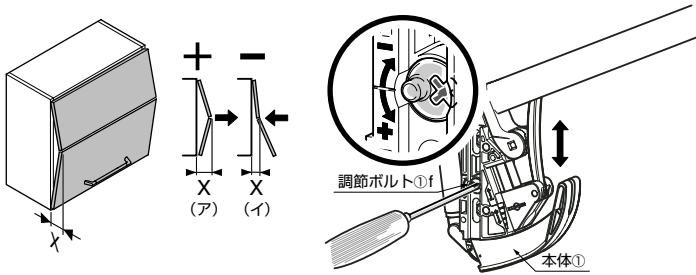
2. 上下のパネルを垂直にしてください。

垂直にするということは、図Ⅲ-5-1の“X”を0にすることをいいます。この項で使う部分の名称は図Ⅲ-5-2によってください。

(1) 調節ボルト①fを回してください。

※“+”の向きに回すと、図Ⅲ-5-1(ア)の矢印の向きのようにパネルが出っ張りします。

※“-”の向きに回すと、同図(イ)の矢印の向きのようにパネルの中央がへこみます。



図Ⅲ-5-1

図Ⅲ-5-2

3. 開く角度の調整をしてください。

調整する角度とは、図Ⅲ-5-3に示した矢印の部分です。

扉を開いた状態から、少し押し下げて行ってください。この項で使う部分の名称は図Ⅲ-5-4によってください。

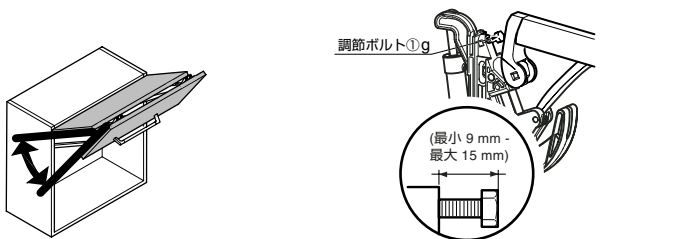
(1) 調節ボルト①gの突出しの長さを覚えて、位置を調節してください。

※六角ボルトを締めると、上側のドアパネルの開いた時の角度は大きくなります。

※六角ボルトは、六角頭の高さが埋め込み面から9mmの高さまで締めることができますが、次のことを守ってください。

(ア) スライド丁番の開き角度よりも上側のドアパネルの角度を大きくしないでください。

(イ) スライド丁番を保護するために、スライド丁番の開き角度よりも幾分か小さめに設定してください。



図Ⅲ-5-3

図Ⅲ-5-4

4. ドアパネルの質量に応じた調整をしてください。

センソは、ドアパネルを約200mm開けたところから最大に開くまでの間は、どこでも止まるように設計されています。ここで、その調整を行ってください。

この項で使うセンソ本体の各部の名称は、図Ⅲ-5-6によってください。

(1) ドアパネルを開いた状態から少し閉じてください。

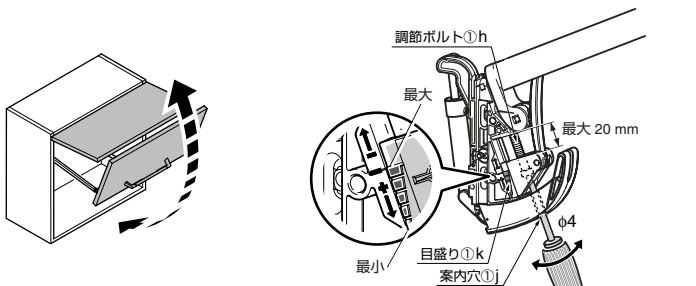
※開ききったまま行くと、調整ボルト①hの頭がアームに押し付けられ、思うように調整がしづらくなります。

(2) 案内穴①jから、六角棒スパナ呼び4を差し込んで、調整ボルト①hの六角穴に噛ませてください。

(3) 六角棒スパナを右に回すと重いドアパネルに対応できるようになり、左に回すと軽いドアパネルに対応できるようになります。

(4) 調節の目安は、目盛り①kで行ってください。

(5) 左右の目盛りの位置を同じにしてください。



図Ⅲ-5-5

図Ⅲ-5-6

5. ドアパネルの操作性の確認を行ってください。

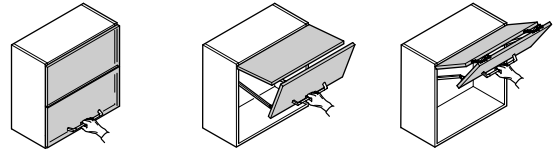
(1) 取り付けおよび固定に使ったねじを全部締めてください。

(2) ドアパネルをゆっくり最後まで開けてください。

(3) ドアパネルをゆっくり完全に閉めてください。

(4) 再びドアパネルを開き、適当な位置で数ヶ所止めてみてください。

(5) 自然に閉じるか開くかしてしまう時は「4ドアパネルの質量に応じた調整をしてください。」の調整を行ってください。

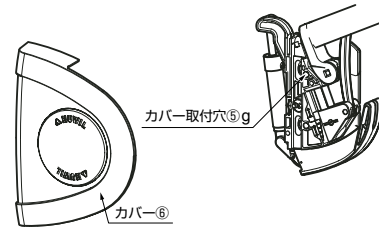


図Ⅲ-5-7

■6 本体にカバーをかけます。

1. 本体①にカバー③をはめてください。

(1) カバー③の裏側の突起(図示していません。)をカバー取付穴⑤gに差し込んでください。



図Ⅲ-6-1